

御代田町誌図説編 目次

口 絵

・四季の風光

・雄大な火山景

行事さまざま

小田井城合戦の図

町誌発刊にあたり……………御代田町長・御代田町誌刊行会長 柳澤 薫

はしがき……………御代田町誌編纂委員長 上原 邦 一

目次

凡 例

第一章 原 始……………1

——時代のあらまし——

第一節 先史・旧石器時代……………3

有史以前の浅間火山 ・浅間山の噴火史を探る ・特徴的な地形「田切り」

・AT火山灰の発見 旧石器時代遺跡の存否

第二節 縄文時代……………8

- ・御代田町最古の石器
- ・尖り底から平底へ
- ・現れた縄文前期のムラ
- ・焼町土器
- ・縄文土器に人々を観る
- ・縄文人の道具
- おとし穴
- ・石器石材の流通
- ・石を敷きつめた住居跡
- ・宮平遺跡の土偶
- 縄文人のゴミ捨て場
- ・土葬と洗骨葬

第三節 弥生時代……………20

- 米作りのムラ
- ・赤い土器とその一群

第二章 古 代……………23

——時代のあらまし——

第一節 古墳時代……………25

- ・前田遺跡の初期須恵器
- ・カマドの採用
- ・古墳群の築造

第二節 奈良・平安時代……………28

- 奈良時代の食器セット
- ・鉄製農工具
- ・竪穴住居の建築材
- ・カマドの信仰
- ・掘立柱建物の採用
- ・塩野の駒
- ・まぼろしの道
- 東山道
- ・律令時代の貨幣
- ・焼物の流通
- ・浅麓の古代村落「小沼郷」
- ・野火付遺跡の埋葬馬
- ・前田遺跡の円面硯
- ・青銅製の火熨斗
- ・幻の古代寺院
- ・追分火砕流の発生
- ・千曲河原の合戦

第三章 中世

——時代のあらまし——

第一節 政治と生活

- 野火付の中世集落
- いざ鎌倉の道
- 御代田地域の城郭
- 小田井城とその周辺
- 小田井原の合戦
- 中世の住まいと食器

47

第二節 産業と経済

- 中国銭の流通

53

第三節 文化と信仰

- 頼朝伝説の周辺
- 真楽寺の仁王像
- 甲賀伝説と竜神まつり
- 七尋芹
- 板碑か真言・種子碑か
- 室町時代の作風を残す仏像

54

第四章 近世

——時代のあらまし——

第一節 政治と生活

- 馬瀬口村開村
- 三ツ谷新田の開発
- 小諸領の境杭
- 南木山をめぐる争い
- 重税と小諸領民
- 小田井宿の助郷
- 馬瀬口村「町離」人数(別)改め帳

63

61

第二節

産業と経済

- ・たばこ禁止請文と時の流れ
- ・年貢にも差別が
- ・天明三年の上信一揆
- ・「穢多」身分の人々は村々の警備をしていた
- ・鉄砲改め
- ・堰人足の数え場
- ・小田井宿旅籠屋の捕り物事件
- ・むかしの点火器
- ・馬瀬口村の「穢多」身分の人々の生活
- ・仙石氏への小休願い
- ・小田井宿の本陣・問屋
- ・村明細帳について

82

第三節

文化と信仰

- ・堰と新田作りの時代
- ・江戸の一文銭、寛永通宝
- ・町内の一里塚
- ・みょうばんの採掘
- ・小田井宿の飯盛り女
- ・米運びの絵符
- ・六十九次凶の小田井
- ・三ツ谷新田の牛宿
- ・西牧騒動
- ・和宮、小田井宿で昼食
- 田川鳳朗と真楽寺
- 普賢寺の道海和尚像
- 伊勢の御師
- 神仏習合の浅間山
- 怒りの相の観世音
- 象に乗る菩薩さま
- 細かく軽やかな水煙意匠
- ・三十三札所とご詠歌
- ・佐久郡巡礼歌
- 日影通りの観音堂
- 馬瀬口観音の万人講
- ・清新な句を残した池田橘人
- 御嶽信仰
- 町内の修験道場
- 俳人 草々庵山朗
- 芭蕉句碑
- 荒町の踊り念仏
- 三ツ谷の舞台
- ・寺子屋
- ・児玉に住み着いた絵かき
- ・植え疱瘡の始まり

92

第四節

その他

- ・戊年の大洪水
- ・天明三年の浅間山大噴火
- ・馬瀬口村の大火

113

第五章 近 代

——時代のあらまし——

第一節 政治と生活

- ・土地持ちの証券
- ・民法作りの調べ
- ・日影通りの鉄道計画
- ・馬瀬口村の議会
- ・林野の国有と下げ戻しの動き
- ・条約改正反対に燃える
- ・第一回の衆院選挙人名簿
- ・消防組の活動
- ・消防組のうつりかわり
- ・国勢調査と農業調査
- ・解放運動の始まり
- ・警察署の統廃合と暴動
- ・耕作権確立の県下初の調停
- ・防火訓練
- ・梨沢の木管水道
- ・お国のために結婚を
- ・修養組織から国防の婦人会へ
- ・戦勝祝いの旗行列
- ・戦時中の子供たち
- ・戦時下農村女性の活躍
- ・出兵兵士を送る門
- ・つらさに耐えた疎開児たち
- ・配給たばこ
- ・子供も貴重な戦力
- ・航空燃料と横穴
- ・伝単
- ・ポツダム宣言

119

第二節 産業と経済

- ・開湯一八〇年の大谷地
- ・幕末、開湯の八カ倉
- ・運送店の全盛
- ・水車屋とソバ粉の移出
- ・わらと生活の移り
- ・停車場のできたころ
- ・商業村の小沼
- ・塩野の苗圃
- ・山で働く人々
- ・洋菜と農産加工の中山農園
- ・養蚕ブーム
- ・農事小組合とイモ汁会
- ・耕地や場所が違う畝
- ・備中畝の形と呼び名
- ・刈り、払い、切る鎌
- ・耕話二つ三つ
- ・生活と白さまざま
- ・にぎわった小田井商店街
- ・塩荷と道すじ
- ・馬産地の伍賀
- ・浅間根腰の葛粉
- ・浅間国有林と木材の搬出
- ・広戸発電所
- ・仁桑川原の再開田
- ・寒冷地の稲作試験
- ・優良山羊の生産地

145

第三節 文化と信仰

..... 171

誠身学校のできたころ ・ 伍賀の村々と小学校 ・ 陰暦から太陽暦へ

コレラ死亡者慰霊の碑 東洋史学の先達、中山久四郎先生 ・ 新築校舎の研文学校

・ 小沼小学校の新校舎 組合学校の革成小学校 電灯よもやま話 明治の浅間登山

小学校を二回卒業した人たち ・ 医師マンローと宮平 ・ ちえ団子

・ 共同耕作を続ける報徳会 ヒカリゴケと保護運動 デンシンバシラ

郵便制度の始まりのころ ・ 御代田郵便局の再置と浅間山郵便局 ・ 忠魂碑と平和克復のお札

・ まぼろしの小沼村歌 草越の寒の水 ・ 朝夕おがんだ奉安殿 ・ 電話の普及

・ スキー二〇〇台で伍賀大会 御代田の異人館 大正のころの葬儀 ・ 思い出の修学旅行

・ 小学校の校庭運動会 ・ 観客を集めた御代田劇場 ・ 娘たちの集まり ・ 小沼村の三大事業

・ 道掃きする少年団員 ・ 青年たちの千社詣で ・ 小沼の学校水道 ・ ツヨキリからツユキリへ

・ 七夕の祭り ・ 広戸集落に特殊な「お手玉歌」

第四節 その他

..... 210

濁川の大洪水 関東大震災 ・ まぼろしの天然記念物、大櫛

第六章 現代

..... 213

—— 時代のあらまし ——

第一節 政治と生活

..... 215

・ 御代田村役場庁舎の新築 演習地化への反対運動 水道の普及

第二節 産業と経済

- ・ゴミ焼却炉の設置反対
- ・平和台の今昔
- 別荘地開発
- 御代田駅とスイッチバック
- 新田切り替え
- 原野に挑む苦難の日々
- ・広戸の開田事業
- ・荷馬車は行く
- ・ハーブ、ラベンダーの栽培
- ・特出する葉物生産
- ・牛のオートメーション牧場
- 新御代田駅の開業
- ・湯川ダム
- ・向山の畑地総合整備

221

第三節 文化と信仰

- ・切り抜き教科書
- ・食料不足の中にも文化の芽
- 御代田郵便局と日付印 (一)
- 御代田郵便局と日付印 (二)
- 手づくりの娯楽
- ・使命感に生きた村瀬支妙師
- ・御代田と私
- ・童話『星の牧場』と井幹屋
- 郷土の力士 佐久昇
- ・オリンピック聖火燃える
- ・学舎は消えても校風消えず
- ・雪窓に中学開校のころ
- ・統合小学校の建設
- ・特急走者の中野
- ・心ふれあう、思いやりの輪の拡大

232

第四節 その他

- 鉄砲水
- 集落を襲う
- ・真楽寺の湧水
- ・天狗の露地
- 不気味な鳥トラッグミ
- 湯川沿岸の植物二題

247

空から見た御代田

広さ深さ楽しさのイラストマップ

町内各区の年中行事

宗教行事 — 寺院

宗教行事 — 神社

253
264
280
284
286

村政・町政を担った人……………288
 ペンで描いた地域の印象……………290

年 表(1~74)……………374
 }
 299

付 録……………375

・方位・時刻表

旧国名地図

元号一覧表

私年号一覧表

・四季・月名異称

・十干・十二支

・度量衡・地積単位

・行政区画変遷 石高一覧、公領・荘園名

・佐久郡の所領変遷

あとがき

・参考、引用文献
 ・資料提供者、編纂協力者名簿
 ・官公庁、会社関係

・刊行会、地区調査員名簿
 刊行会事務局
 ・編纂執筆関係者名簿